

（二）シラヌタの池とその周辺しゅうへんの生物相せいぶつそう

県文化財 昭和四十六年八月指定

モリアオガエルの生息地として知られている「シラヌタの池」は、片瀬・白田海岸から天城の万三郎岳の南の斜面に向かって十二キロメートルほどの深い山の中にあります。このあたりは川久保川の上流で、山の中のゆるやかな谷のような形をしています。

以前は、天城火山の噴火口の跡であるといわれていました。今では、八十〜二十万年前の噴火でつくられた地形であり、地すべりなどによってできた窪地に水がたまったと考えられています。

このような特徴のある地形は、特別な自然環境をつくりだし、めずらしい動植物が数多く生息する場となっています。周辺の森林には、県文化財に指定されている「シラヌタの大スギ」といわれる木があります。また、ケヤキなどの大きな木もあり、自然豊かな生物

相を見ることが出来ます。

シラヌタの池とその周辺は、開発など人の手が入っていない自然豊かな場所です。私たちの町にこのような自然豊かな場所があることは、みんなが知り、伝えたい場所のひとつです。

